

千葉市道路排水ポンプ場施設維持管理計画（第2期）



弁天雨水ポンプ場



稲荷雨水ポンプ場



末広雨水ポンプ場



蘇我町線雨水ポンプ場



新港横戸町線雨水ポンプ場



武石雨水ポンプ場



松波雨水ポンプ場



美浜長作町線雨水ポンプ場



鎌取雨水ポンプ場



駅前地下道ポンプ場



神明第一雨水ポンプ場



神明第二雨水ポンプ場



村田町道路排水ポンプ場



中野町雨水ポンプ場



小間子町雨水ポンプ場

令和8年3月



千葉市

目次

1	背景と目的	P1
2	第1期計画の検証・評価と計画更新のポイント	P2
3	対象施設	P3
4	計画期間	P4
5	対策の優先順位の考え方	P4
6	施設の状態等	P5
7	対策内容と実施時期	P7
8	計画による効果と対策費用	P11
9	用語説明	P12

1 背景と目的

本市では、公共施設等の老朽化に対応するため、「千葉市公共施設等総合管理計画（令和2年3月改訂）」を策定しており、施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定しています。

道路排水ポンプ場施設については、「個別施設計画」として計画的な更新などを推進し、道路交通安全性、信頼性の確保ならびに維持管理費の平準化を図っていくことを目的として、令和3年3月に「千葉市道路排水ポンプ場施設維持管理計画」を策定しています。

道路排水ポンプ場とは、周辺道路よりも低く、雨水が集まりやすい地下道（アンダーパス）等にある施設で、降雨時に集まった雨水を強制的に排水する施設のことを指し、本市が管理する道路排水ポンプ場施設は、15施設あります。

これらの施設が故障によって排水機能を失った場合、道路冠水によって通行止めや車両の水没が起きるため、道路利用者への影響が大きい施設となります。

しかし、これらの施設は設置してから数十年経過しており、今後、更新時期を迎える施設が増加し、維持管理費用や更新費用の増加が見込まれるこのことから、計画更新型の施設として計画的に進め、道路交通安全性、信頼性を確保および維持管理費の平準化を図っていくことが求められています。

以上を踏まえ、本市が管理する道路排水ポンプ場施設について、令和3年3月に策定した「千葉市道路排水ポンプ場施設維持管理計画」から5年目を迎えるに当たり、適切な維持管理と財政負担の軽減を図ることを目的に、PDCAサイクルの観点から現行計画の見直しを行いました（図1参照）。

現行計画の見直しに当たって、保守修繕・更新の状況を踏まえながら施設の効率的かつ効果的な維持管理を継続していくために第2期計画へと更新しました。

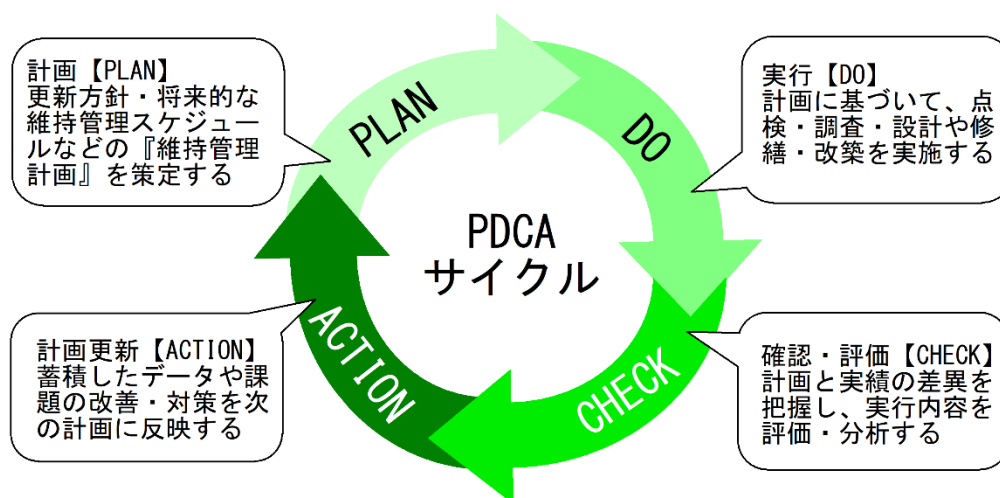


図1. 本計画サイクル

2 第1期計画の検証・評価と計画更新のポイント

第1期計画策定後の令和3年度から令和7年度までの主な機器更新は、3施設中、1施設について完了、2施設について事業継続中の状況になります。工事進捗の遅れは生じていますが、揚水機能の停止に至るような不具合は確認されておらず、道路交通の安全性・信頼性を確保することができました。

第2期計画は、第1期計画の基本的な考え方を踏襲しつつ部分的な見直しを図り、社会経済情勢の変化に対応する必要があります。第2期計画では以下の内容をポイントにおき、維持管理計画の見直しを図ります。

(1) 目標耐用年数の設定

第1期計画では、本市の道路排水ポンプ場における設備機器の更新実績が少ない点から、ポンプ本体と揚砂ポンプのみに対して、標準耐用年数の1.5倍を目標耐用年数として設定しており、これ以外の設備は目標耐用年数を設定していませんでした。

第2期計画では、点検等結果により、各種躯体・設備は良好に保持されていると判断できることから、これまでの更新実績等を考慮して、すべての設備に対する目標耐用年数を設定します。

(2) 更新方針の見直し

老朽化が生じた際のポンプ本体等について、更新としていた方針をすべて修繕（長寿命化）扱いとし、ライフサイクルコストを比較したうえで、主要部品単位の部品交換等を行い、長期的な視点による維持管理を実施します。

(3) 地震への対応

地震に対応するため、建屋のある施設は耐震診断を基本とします。

3 対象施設

本計画の対象施設を表1に示します。対象施設は、道路管理者が所管する道路排水ポンプ場とします。

表1. 道路排水ポンプ場対象施設一覧表

ポンプ場名称	竣工年度	地下道名称	道路名称	所管課
弁天雨水ポンプ場	1969年度 (昭和44年度)	弁天地下道	市道弁天27号線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
稲荷雨水ポンプ場	1979年度 (昭和54年度)	末広地下道	市道西千葉駅稲荷町線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
末広雨水ポンプ場	1987年度 (昭和62年度)	寒川・稲荷地下道	市道寒川町20号線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
蘇我町線雨水ポンプ場	2002年度 (平成14年度)	蘇我町線地下道	市道蘇我町線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
新港横戸町線雨水ポンプ場	2008年度 (平成20年度)	新港穴川線地下道	市道新港穴川線	花見川・稲毛土木事務所 維持建設課
武石雨水ポンプ場	1982年度 (昭和57年度)	武石地下道	市道幕張366号線	花見川・稲毛土木事務所 維持建設課
松波雨水ポンプ場	1981年度 (昭和56年度)	商高前地下道	県道幕張町弁天町線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
美浜長作町線雨水ポンプ場	2004年度 (平成16年度)	幕張昆陽地下道	県道千葉鎌ヶ谷松戸線	花見川・稲毛土木事務所 維持建設課
鎌取雨水ポンプ場	1987年度 (昭和62年度)	鎌取地下道	市道おゆみ野南部5号線	緑土木事務所 維持建設課
駅前地下道ポンプ場	1994年度 (平成6年度)	駅前地下道	市道新町若松町線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
神明第一雨水ポンプ場	2013年度 (平成25年度)	寒川大橋地下道(神明町側)	市道神明町27号線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
神明第二雨水ポンプ場	2013年度 (平成25年度)	寒川大橋地下道(出洲港側)	市道出洲港2号線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
村田町道路排水ポンプ場	2009年度 (平成21年度)	村田町JR内房線地下道	市道村田町10号線	中央・美浜土木事務所 維持建設課
中野町雨水ポンプ場	1995年度 (平成7年度)	-	市道中野町238号線	若葉土木事務所 維持建設課
小間子町雨水ポンプ場	2000年度 (平成12年度)	-	市道小間子町29号線	若葉土木事務所 維持建設課

4 計画期間

本計画では、中長期的な将来事業費を見据えるほか、機械・電気設備の標準的な更新時期を一巡する期間を確保することを目的に、計画期間は2026年度から2045年度（令和8年度から令和27年度）の20年間とします。

なお、本計画はPDCAサイクルの観点から5年ごとに見直しを図ります。今回は、第2期の維持管理計画であり、令和3年3月に策定した第1期計画の見直しになります。

5 対策の優先順位の考え方

道路排水ポンプ場には、対象施設に応じて複数の工種を有しており、機械・電気設備、土木・建築施設のほか、建築機械・建築電気設備の6工種があります。これらは様々な設備で構成されていることから、重要度が高い設備を優先的に対策することを念頭に、設備の特性・分類に応じて表2に示す更新方針を設定します。

表2. 道路排水ポンプ場の更新方針

工種	中分類	今回の見直し	
		措置※1	管理方法※2
機械設備	雨水ポンプ設備	修繕（長寿命化）または更新	状態監視保全
	雨水沈砂設備	更新	状態監視保全
	ゲート設備	修繕（長寿命化）または更新	状態監視保全
	スクリーンかす設備	更新	状態監視保全
	クレーン類物あげ設備	更新	事後保全
	用水設備	更新	事後保全
電気設備	全分類	更新	時間計画保全
土木施設	躯体	修繕（長寿命化）または更新	状態監視保全
	躯体以外	更新	事後保全
建築施設	躯体	修繕（長寿命化）または更新	状態監視保全
	躯体以外	更新	事後保全
建築機械設備	全分類	更新	事後保全
建築電気設備	全分類	更新	事後保全

※1 修繕において部品供給停止やライフサイクルの比較などで修繕が不利な場合は、更新します。

※2 状態監視保全:設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法を指します。

時間計画保全:設備の特性に応じてあらかじめ定めた周期（目標耐用年数等）により、対策を行う管理方法を指します。

事後保全:設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法を指します。

6 施設の状態等

(1) 耐用年数の超過

各道路排水ポンプ場は、適切な日常点検や定期点検の継続的な実施により、現在は問題なく運転しております。しかし、図2に示すように今後、経過年数が増加していくことで老朽化が進行します。

また、図3に示すように標準耐用年数を超過する設備は増加傾向であり、不具合が生じる可能性が増加することから、適切な維持管理が必要となります。

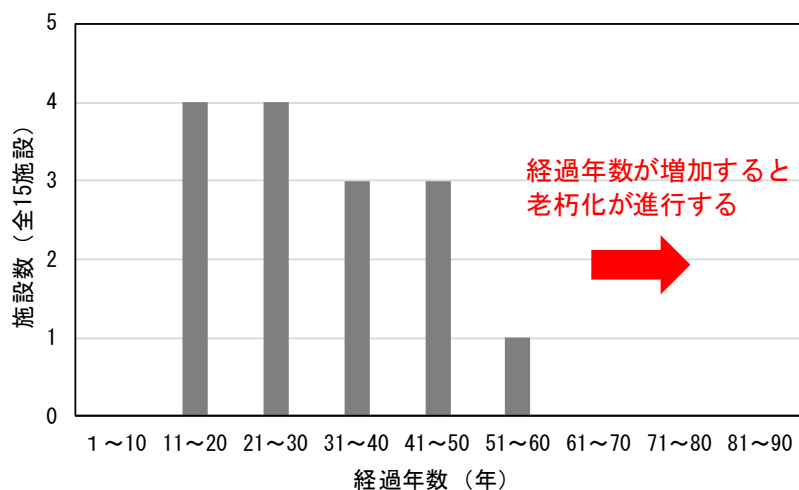


図2. 経過年数と施設数

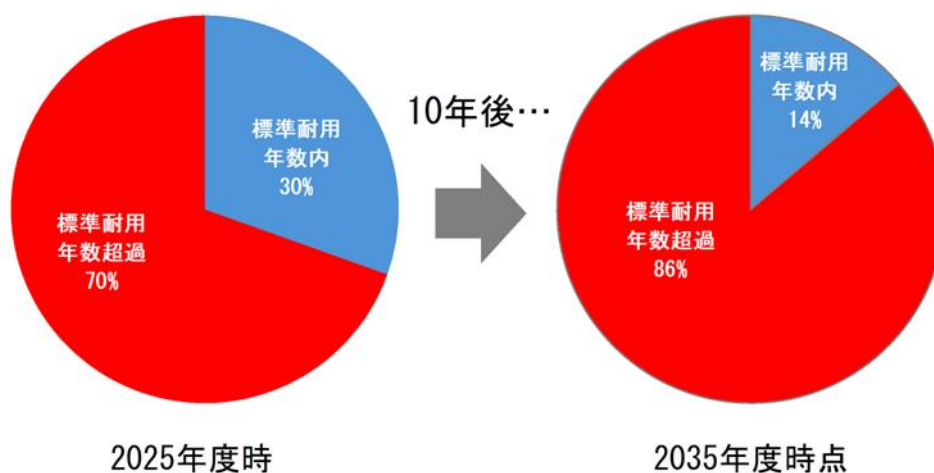


図3. 標準耐用年数超過割合

(2) 標準耐用年数の考え方

標準耐用年数は、下水道施設の標準耐用年数を参考に設備特性に応じて、表3のように設定しています。

表3. 標準耐用年数の考え方

工種	中分類	標準耐用年数
機械設備	雨水ポンプ設備	20
	雨水沈砂設備	15・20
	ゲート設備	15
	スクリーンかす設備	15
	クレーン類物あげ設備	20
	用水設備	15
電気設備	全分類	7・10・15・20
土木施設	躯体	50
	躯体以外	10・18
建築施設	躯体	50
	躯体以外	10・18
建築機械設備	全分類	15
建築電気設備	全分類	15

(3) 現施設の経過年数と不具合の発生確率

現施設の経過年数と標準耐用年数から不具合の発生確率を図4および表4のように算定したところ、全設備のうち約半数がランク3以上であり、不具合の発生確率が高い設備が多い状況です。

よって、道路交通の安全性や信頼性を確保しつつ、維持管理費用の平準化や着実な管理を行うには、重要度が高く、耐用年数を超過している設備に対して、重点的な更新・修繕を行っていき、実現可能な対策内容と実施時期を設定する必要があります。

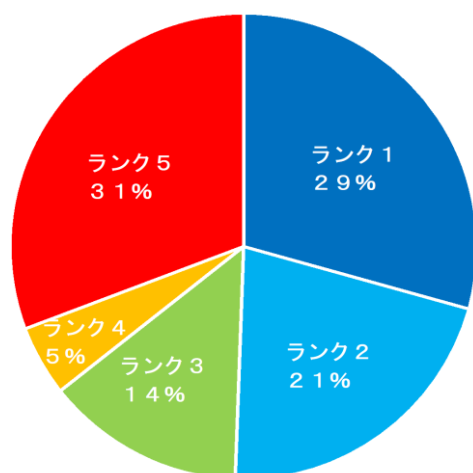


図4. 不具合の発生確率

表4. 発生確率のランク付け

経過年数÷標準耐用年数	ランク付け	不具合発生確率
1.0未満	1	 低 中 高
1.0～1.3未満	2	
1.3～1.6未満	3	
1.6～2.0未満	4	
2.0以上	5	

7 対策内容と実施時期

(1) 点検

全15施設のうち、幹線道路等のアンダーパスにある13施設については、稼働状況の把握のため今後も定期点検を実施していきます。また、郊外部の生活道路にある残り2施設の小規模施設についても、梅雨・台風前などに職員で異常がないか適時点検を実施していきます。

(2) 目標耐用年数の設定

第2期計画では、これまでの更新実績等を考慮して、すべての設備に対する目標耐用年数を各道路排水ポンプ場の施設特性に応じて設定します。すべての設備に対する目標耐用年数を設定することによって、各設備の適切な更新・修繕時期を設定し、道路交通の安全性や信頼性を確保しつつ、効果的かつ効果的な維持管理を行います。目標耐用年数は表5のように設定しています。

表5. 目標耐用年数の設定内容

工種	中分類	目標耐用年数
機械設備	雨水ポンプ設備	11～39
	雨水沈砂設備	20～35
	ゲート設備	15～50
	スクリーンかす設備	35～50
	クレーン類物あげ設備	50
	用水設備	36～43
電気設備	全分類	9～56
土木施設	躯体	50
	躯体以外	45～50
建築施設	躯体	48～50
	躯体以外	30～50
建築機械設備	全分類	25～50
建築電気設備	全分類	23～50

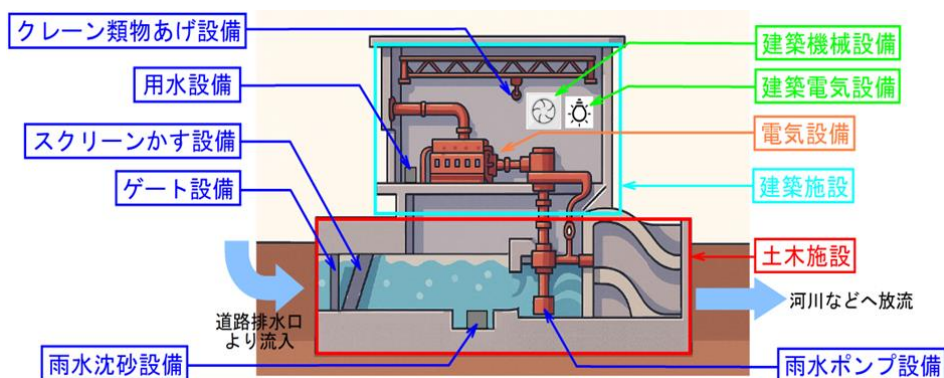


図5. 各設備配置イメージ

(3) 対策内容

対策は、図6の対策実施フローに基づいて、調査および修繕改築計画を実施し、対策が必要な場合には実施設計後に工事を行います。なお、対策は土木・建築施設の躯体に対する地震対策にも留意して実施します。

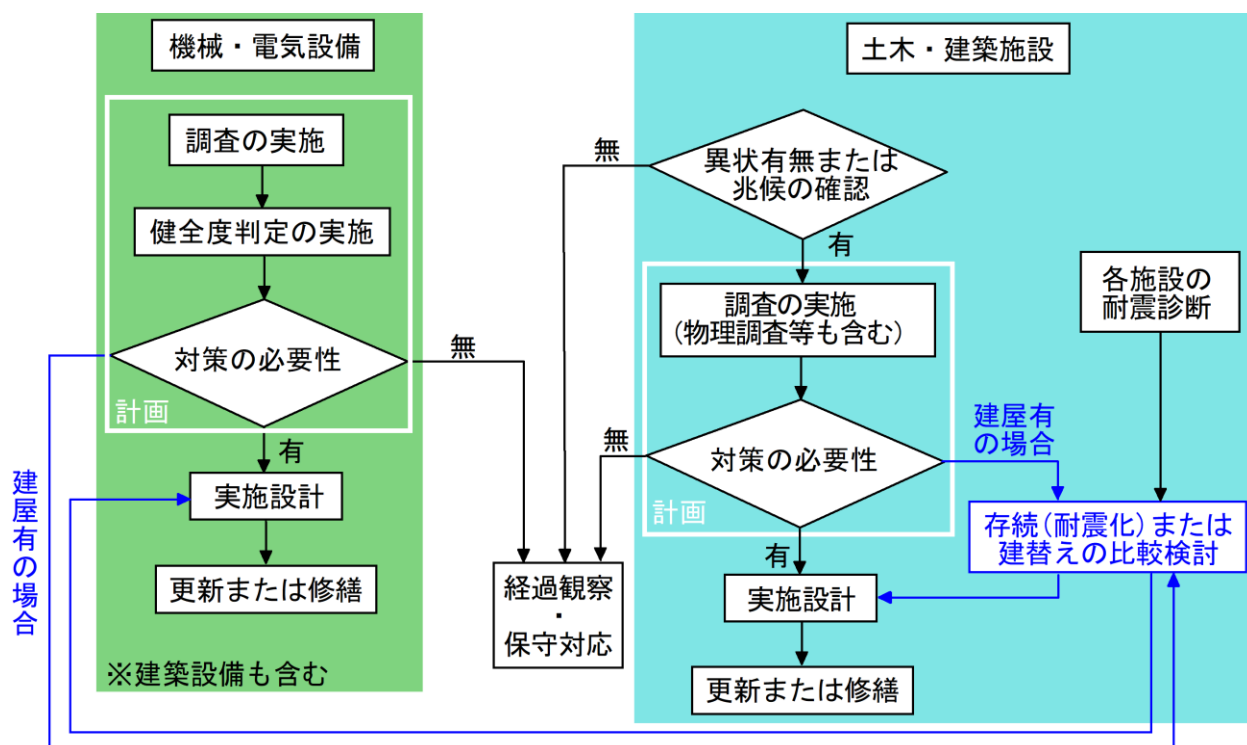


図6. 対策実施フロー

(4) 調査・修繕改築計画

各設備の対策の必要性および修繕または更新の判断を行うため、健全度判定による劣化状況の定量的評価を行います。また、「修繕（長寿命化）」による対策と位置付けた設備は、健全度判定結果に基づいた各設備ライフサイクルコストを算出し、修繕または更新の判断を行います。

1) 計画

調査に基づき、健全度判定（機械・電気設備のみ）を実施、対策の必要性の有無など判断を行います。

2) 設計

計画に基づき、対策が必要と判断された設備の実実施設計を行います。

3) 更新または修繕

計画および設計に基づき、対策が必要と判断された設備の更新工事または修繕工事を行います。

(5) 各種実施設計の実施

調査・修繕改築計画に基づき、対策が必要と判断された設備の実実施設計を行います。

(6) 設備の更新・修繕時期の設定

各設備の対策実施時期は、表6および表7の維持管理計画表に準じて実施します。

表6. 道路排水ポンプ場維持管理計画表(1)

□: 計画業務 ■: 設計業務 ○: 更新工事 ●: 修繕

	ポンプ場名称	工種	分類	更新方針	管理方法	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045		
						R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27		
1	弁天雨水ポンプ場 【竣工年度】 1969年度(昭和44年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視		□	■						○	○												
			雨水沈砂設備	更新	状態監視		□	■							○	○											
			ゲート設備	修繕	状態監視		□	■							○	○											
			クレーン類物あげ設備	更新	事後		□	■								○											
		電気	全分類	更新	時間計画		○	○																			
			躯体	修繕	状態監視		□	■	●																		
		土木	躯体以外	更新	事後		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■	●																		
		建築	躯体以外	更新	事後		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■	○																		
建築機械	全分類	更新	事後		□	■	○																				
建築電気	全分類	更新	事後		□	■	○																				
2	稲荷雨水ポンプ場 【竣工年度】 1979年度(昭和54年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視																						
			用水設備	更新	事後																						
			スクリーンかす設備	更新	状態監視		□	■	○																		
			クレーン類物あげ設備	更新	事後		□	■			○																
		電気	全分類	更新	時間計画		□	■				○	○	○													
			躯体	修繕	状態監視		□	■	●																		
		土木	躯体以外	更新	事後		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■	●																		
		建築	躯体以外	更新	事後		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■	○																		
建築機械	全分類	更新	事後		□	■	○																				
建築電気	全分類	更新	事後		□	■	○																				
3	末広雨水ポンプ場 【竣工年度】 1987年度(昭和62年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視																						
			ゲート設備	修繕	状態監視																						
			スクリーンかす設備	更新	状態監視																						
			クレーン類物あげ設備	更新	事後																						
		電気	全分類	更新	時間計画																						
			躯体	修繕	状態監視																						
		土木	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
		建築	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
建築機械	全分類	更新	事後																								
建築電気	全分類	更新	事後																								
4	蘇我町線雨水ポンプ場 【竣工年度】 2002年度(平成14年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視																						
			雨水沈砂設備	更新	状態監視																						
			ゲート設備	修繕	状態監視																						
			スクリーンかす設備	更新	状態監視																						
		電気	全分類	更新	時間計画		○																				
			躯体	修繕	状態監視																						
		土木	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
		建築	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
建築機械	全分類	更新	事後																								
建築電気	全分類	更新	事後																								
5	新港横戸町線雨水ポンプ場 【竣工年度】 2008年度(平成20年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視																						
			雨水沈砂設備	更新	状態監視																						
			スクリーンかす設備	更新	状態監視																						
			クレーン類物あげ設備	更新	事後																						
		電気	全分類	更新	時間計画																						
			躯体	修繕	状態監視																						
		土木	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
		建築	躯体以外	更新	事後																						
			躯体	修繕	状態監視																						
建築機械	全分類	更新	事後																								
建築電気	全分類	更新	事後																								
6	武石雨水ポンプ場 【竣工年度】 1982年度(昭和57年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視		□	■	○																		
			クレーン類物あげ設備	更新	事後		□	■																			
		電気	全分類	更新	時間計画		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■																			
		土木	躯体以外	更新	事後		□	■	○																		
			躯体	修繕	状態監視		□	■																			
		建築	躯体以外	更新	事後		□	■																			
			躯体	修繕	状態監視		□	■																			
		建築機械	全分類	更新	事後		□	■																			
		建築電気	全分類	更新	事後		□	■																			
7	松波雨水ポンプ場 【竣工年度】 1981年度(昭和56年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□	■			○	○													
			スクリーンかす設備	更新	状態監視				□	■			○	○													
			クレーン類物あげ設備	更新	事後				□	■			○	○													
		電気	全分類	更新	時間計画				□	■				○	○												
			躯体	修繕	状態監視				□	■																	
		土木	躯体以外	更新	事後				□	■																	
			躯体	修繕	状態監視				□	■	●																
		建築機械	全分類	更新	事後				□	■																	
		建築電気	全分類	更新	事後				□	■																	

表 7. 道路排水ポンプ場維持管理計画表 (2)

□：計画業務 ■：設計業務 ○：更新工事 ●：修繕

	ポンプ場名称	工種	分類	更新方針	管理方法	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045		
						R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27		
8	美浜長作町線雨水ポンプ場 【竣工年度】 2004年度(平成16年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□		■	○												○			
			雨水沈砂設備	更新	状態監視				□		■	○															
			スクリーンかす設備	更新	状態監視				□																		
			クレーン類物あげ設備	更新	事後				□																		
		電気	全分類	更新	時間計画				□		■																
			土木	躯体	修繕	状態監視				□																	
				躯体以外	更新	事後				□																	
			建築機械	全分類	更新	事後				□																	
建築電気	全分類	更新	事後				□																				
9	鎌取雨水ポンプ場 【竣工年度】 1987年度(昭和62年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視										□	■							○	○			
			雨水沈砂設備	更新	状態監視											□											
			スクリーンかす設備	更新	状態監視												□	■	○								
			クレーン類物あげ設備	更新	事後												□	■	○								
		電気	全分類	更新	時間計画						○						□										
			土木	躯体	修繕	状態監視											□	■			●						
				躯体以外	更新	事後											□	■			○						
			建築機械	全分類	更新	事後											□	■			○						
建築電気	全分類	更新	事後											□	■			○									
10	駅前地下道ポンプ場 【竣工年度】 1994年度(平成6年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視		□																	○			
			雨水沈砂設備	更新	状態監視		□																		○		
			スクリーンかす設備	更新	状態監視		□																			○	
			クレーン類物あげ設備	更新	事後		□																			○	
		電気	全分類	更新	時間計画		□													■	○	○					
			土木	躯体	修繕	状態監視		□																		■	●
				躯体以外	更新	事後		□																		■	○
			建築機械	全分類	更新	事後		□																		■	○
建築電気	全分類	更新	事後		□																			○			
11	神明第一雨水ポンプ場 【竣工年度】 2013年度(平成25年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□									○									
		電気	全分類	更新	時間計画				□○															○			
12	神明第二雨水ポンプ場 【竣工年度】 2013年度(平成25年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□						○												
		電気	全分類	更新	時間計画				□○															○			
13	村田町道路排水ポンプ場 【竣工年度】 2009年度(平成21年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□																		
		電気	全分類	更新	時間計画				□						○												
14	中野町雨水ポンプ場 【竣工年度】 1995年度(平成7年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□															○			
		電気	全分類	更新	時間計画				□									○							○		
15	小間子町雨水ポンプ場 【竣工年度】 2000年度(平成12年度)	機械	雨水ポンプ設備	修繕	状態監視				□											○							
		電気	全分類	更新	時間計画				□									○		○							

8 計画による効果と対策費用

第1期計画では、2020年から2039年までの20年間で32億円/20年間（約1.6億円/年）の事業費を見込んでいました。

第2期計画では、人件費及び資機材の価格の高騰の中、目標耐用年数を新たに設定し、維持管理計画を見直すことにより事業費を14%程度の増に留め、36.5億円/20年間（約1.8億円/年）を見込みます。

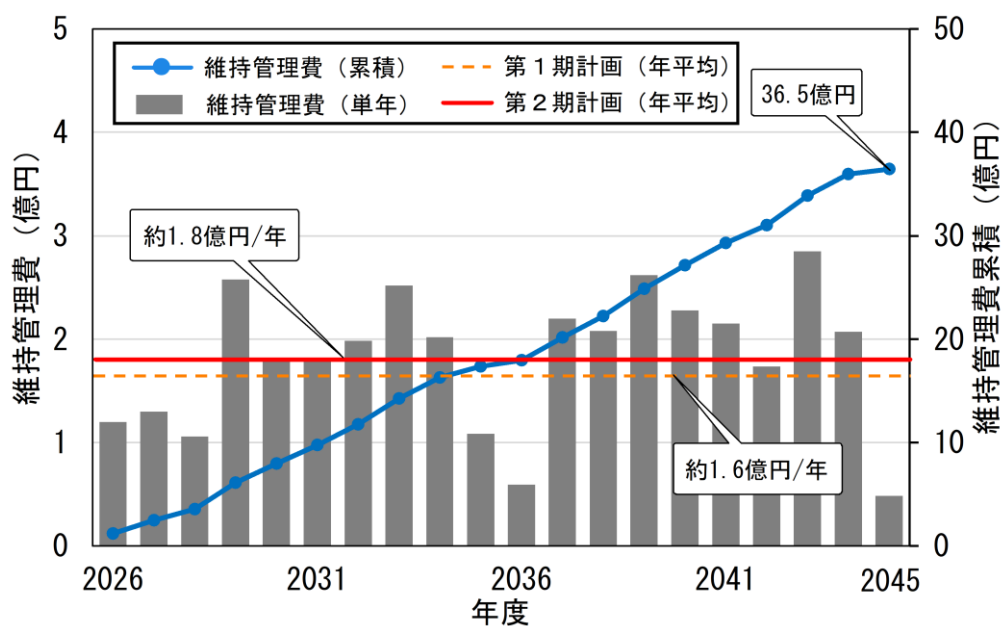


図7. 今後20年間の対策費用

9 用語説明

(1) アンダーパス

鉄道と道路などを平面交差させないことで事故を防ぐ目的で設けられた地下道などを指す。交差点を立体化させることで信号待ちをなくすることができる。

(2) PDCAサイクル

品質管理など業務管理における継続的な改善方法である。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する方法である。

(3) 雨水ポンプ

降雨時に集まった雨水を強制排水する設備である。

(4) 揚砂ポンプ

沈砂池やポンプ井に堆積した沈砂を排出する設備である。

(5) 標準耐用年数

減価償却資産が利用に耐える標準的な耐用年数である。

(6) 目標耐用年数

更新の実績等をもとに施設管理者が目標として設定する耐用年数である。

(7) 年上昇率

各種事業費に対して、基準年度の実質額に変換するための指標であり、物価変動を考慮した実際の事業費を把握するための物価上昇率である。

(8) 定量的評価

対象資産の劣化状況を数値により評価する方法である。

(9) ライフサイクルコスト

施設・設備における新規整備、維持、修繕、更新等を含めた生涯費用の総計である。

(10) 雨水沈砂設備

雨水に含まれる砂・土砂・ゴミなどを沈殿させて除去するための設備である。

(11) ゲート設備

水の流れを開閉操作により調整するための設備である。

(12) スクリーンかす設備

雨水や下水に含まれるゴミ・浮遊物をスクリーンで除去し、回収・処理するための設備である。

(13) クレーン類物あげ設備

重量物や大型機器をつり上げ・つり下ろしするための設備である。

(14) 用水設備

施設や設備の運転・維持管理に必要な水を確保・供給するための設備である。

(15) 状態監視保全

施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法である。

(16) 時間計画保全

施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により、対策を行う管理方法である。

(17) 事後保全

施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法である。

(18) 耐震化

地震が発生しても、建物や構造物、設備が倒壊・損傷しにくくなるように性能を高めることである。

(19) 健全度判定

施設や設備の劣化状況・損傷の程度を評価し、現在の状態や今後の対応方針を判断するための指標である。

(20) 長寿命化

施設や設備を計画的に点検・補修・更新することで、使用可能な期間を延ばし、機能を長く維持することである。

千葉県道路排水ポンプ場施設維持管理計画（第2期）

発行 令和8年3月

編集 〒260-8722

千葉県中央区千葉港1番1号

千葉県建設局土木部土木保全課